

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	病理学概論	講義	3	60	解剖学1・2・3、生理学1・2 臨床医学各論
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3年	鈴木 康仁	☐ 有 ☒ 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
あらゆる疾患における病的現象（症状）が病的状態の変化（病変）によって生じていることを理解し、その症状が生じている理由（病理）を病変（循環障害・退行性病変・進行性病変・炎症・腫瘍・免疫異常・アレルギー・先天性異常）をもとに説明できることを目標とする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
病理学の理解には解剖学、生理学の基礎知識が重要となります。基礎医学系の復習は随時行って下さい。病理学の教科書で出てくる疾病については必ず臨床医学各論の教科書でも確認して下さい。					
教科書・参考書					
教科書：病理学概論（公益社団法人 東洋療法学校協会 編） 参考：解剖学、生理学、臨床医学各論（公益社団法人 東洋療法学校協会 編）					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡しして下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。 【 受講科目受講時留意点 】 ● 携帯電話は授業開始の挨拶前に鞆の中にしまっておいて下さい。（机の中に入れていた場合は注意します。） ● 授業中の給水は適宜取って頂いて構いませんが、ペットボトル・水筒等は机上に置かず鞆にしまっておいて下さい。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験（中間試験・期末試験）により評価する。			
その他	0				
（合計）	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション 第1章 病理学とは		/	鈴木
2		第2章 疾病の分類・症候と症状		/	鈴木
3		第3章 病 因		/	鈴木
4		第3章 内 因		/	鈴木
5		第3章 外 因		/	鈴木
6		第4章 充血・うっ血、 貧血・虚血、出血		/	鈴木
7		第4章 血栓、塞栓、梗塞		/	鈴木
8		第4章 水腫・浮腫 脱水症、ショック		/	鈴木
9		第5章 萎縮・変性		/	鈴木
10		第5章 加齢と老化、 生活習慣病、壊死と死		/	鈴木

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		第6章 肥大・再生		/	鈴木
12		第6章 化生・移植		/	鈴木
13		第6章 創傷治癒・異物処理		/	鈴木
14		定期試験 第7章 炎症の一般		/	鈴木
15		第7章 炎症の分類①		/	鈴木
16		第7章 炎症の分類②		/	鈴木
前期試験(授業外実施)					
17		第8章 腫瘍とは・形態と構造		/	鈴木
18		前期試験解説 第8章 腫瘍細胞の特色～分類		/	鈴木
19		第8章 発生 of 諸段階 生体に及ぼす影響		/	鈴木
20		第8章 発生原因・治療と再発		/	鈴木

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		第8章 良性腫瘍・悪性腫瘍		/	鈴木
22		第9章 液性免疫と細胞性免疫		/	鈴木
23		第9章 アレルギー・免疫不全		/	鈴木
24		第9章 自己免疫異常		/	鈴木
25		第10章 先天性異常総論		/	鈴木
26		第10章 遺伝性疾患		/	鈴木
27		第10章 染色体異常		/	鈴木
28		総復習		/	鈴木
29		後期試験 (授業内実施)		/	鈴木
30		試験解説		/	鈴木